

令和5年2月27日
佛教大学附属幼稚園



園長 佐藤和順



「仏教保育3月のねらい」

ちえきぼう
智慧希望

「希望をもち、新しい年度へ」

今年度も残りわずかとなりました。日一日と春に近づいています。

3月は進学・進級に向けてのまとめの月です。

今月の保育目標は「智慧希望（ちえきぼう）希望をもち楽しく暮らそう」です。いつも希望を胸にもち、明るい明日の生活を目指して、よく学び、よく働き、すべての人のために楽しい社会を生み出すように努めることの大切さを感じてほしいと考えています。

「知恵」というと、文字や数字の理解などといった「知識」を思い浮かべがちですが、「智慧」とは「物事の筋道が分かり、うまく処理していける能力」のことです。AI等の発展により現在の人類の想像を越えた時代が来ると言われています。先日も「空飛ぶ自動車」がメディアに取り上げられていました。これまでの知識や情報が役に立たない時代かもしれません。そのような時必要になるのが、新しい価値観を創出する力、自分で課題を発見し、自分で解決しようとする力、他者に説明できる力です。これこそが「智慧」です。2020年度より、小学校の『学習指導要領』が新しくなりました。新『学習指導要領』では、知識を学ぶだけでなく、それらをどのように活用するかを考え、「何のために勉強するのか」という意識を持つことが重要だとされています。主体的・対話的な深い学びの方法で授業が行われ、生涯、能動的に学び続けることを目指すとされています。単に知識を増やすことではなく、得た知識をいかに使うのか。まさにこれこそが「智慧」です。

「智慧」を身に着けるために幼稚園では、「知恵」「知識」を得るための準備段階として心の根っこの部分を育てることに重点をおいています。しっかりとした根がなければ、その上にしっかりとした幹や枝は育ちません。花や実をつけることを急ぐのではなく、花や実をつけるための土台となる根をしっかりと育てたいと考えています。

今年度もコロナ禍に振り回された1年でした。このような状況下でも子ども達は様々な経験を通してたくさんの成長をしました。また、佛教大学附属幼稚園は4月より佛教大学附属こども園に移行いたします。子どもとともに、新たなスタートを明るく笑顔で迎えらえることを強く願っています。最後になりましたが、保護者の皆さまには1年間温かく見守っていただき、園の運営にご理解ご協力をいただきました。心より感謝申し上げます。この場をおかりしまして厚くお礼申し上げます。

